

橋渡し研究加速ネットワークプログラム

文部科学省
 早期診断・治療を可能とする技術、医療品、機器の開発
 平成23年度概算要求額：3,000百万円

概要

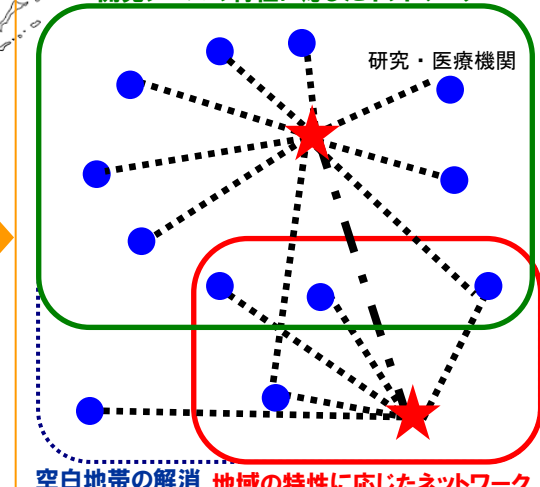
- がんや認知症、生活習慣病等の国民を悩ます病に対する創薬や医療技術などについて、**有望な基礎研究の成果を実用化につなげる「橋渡し研究」の支援体制を整備。**
- 橋渡し研究を加速するため、**全国7箇所の支援拠点を中核として**、地域性やがん治療薬・技術等の開発ニーズの特性を基本とした、大学等から構成される**橋渡し研究ネットワークを形成。**
- 平成23年度までに、各拠点2件の研究シーズを治験の段階まで移行させ、拠点の支援能力について一定の確立を図るとともに、**各拠点の自立した橋渡し研究支援を促進。**

国家としての基礎研究成果の実用化パイプラインを構築

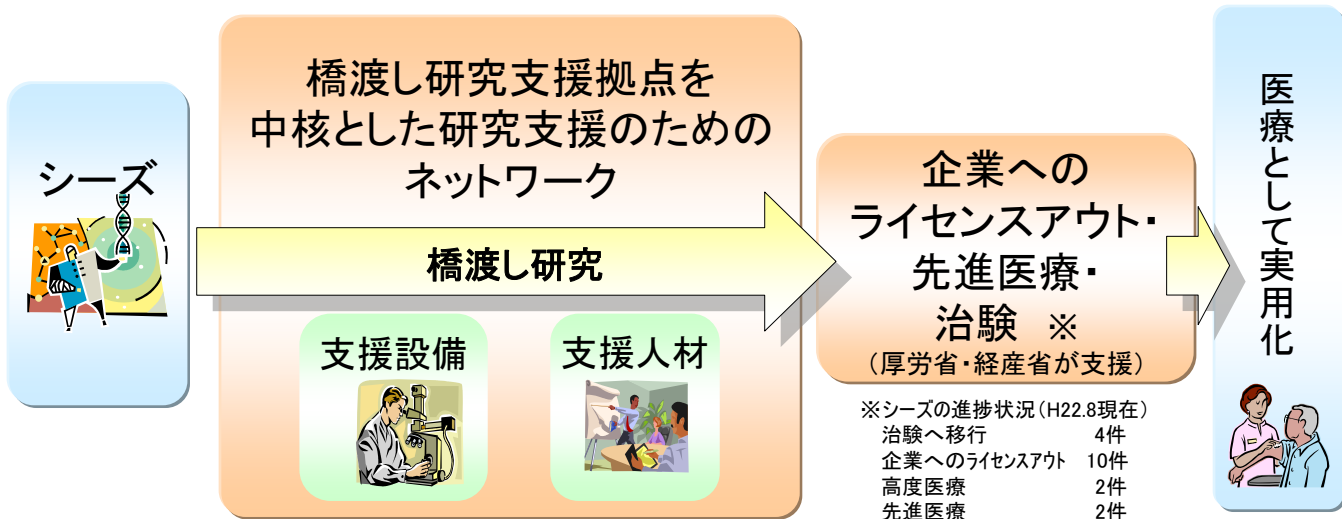


橋渡し研究ネットワークの形成

開発シーズの特性に応じたネットワーク



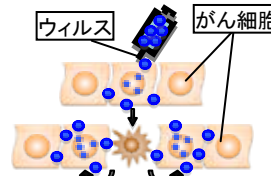
概要・実施体制



波及効果と成果の例

■がんのウイルス療法

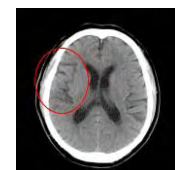
がん細胞だけで増殖できるように人工的に造ったウイルスにより、がん細胞だけを壊滅させる。



がん患者数：約64万人、国民医療費：約3兆円

■脳梗塞に対する細胞治療

自己の骨髄細胞を用いた新治療法。麻痺していた身体が動くようになるなど、これまで12例で顕著な臨床効果を確認。



脳梗塞患者数：約40万人、国民医療費：約6千億円